学校再開プログラムを活用して

～各学年の子どもたちの様子～

城郷小学校

夏季休業期間が延長され、学校再開も分散登校からのスタートとなったため、子どもたちの中には、「自分の思い」を上手に表現できずに困っている子も見受けられました。そのような子どもたちの内面的な不安要素（学習や学校生活等）を少しでも減らし、円滑にスタートできるように「学校再開プログラム」を実施しました。

下にその取り組み内容（プログラム名）と行った職員の感想を載せました。

【個別】　プログラム名：心が落ち着く呼吸の仕方
じゃんけんバリエーション
リズムでつなごうみんなの輪

- 毎日続けることで習慣化でき、安心して一日のスタートが切れる様子が見られました。
- クラス内の友達の距離が近づいていました。
- 子どもたちが、楽しそうにやっているのでよかったです。
- やり方が分かると安心して取り組めるので、よかったと思います。

【1 年】　プログラム名：心が落ち着く呼吸の仕方

- 久しぶりの登校でドキドキざわざわした空気が、すっと落ち着きました。

【2 年】　プログラム名：心が落ち着く呼吸の仕方

- 久しぶりの登校に、気分が昂揚し、大きな声を出していた子どもたちも、深呼吸をすることで「きもちいい！」「落ち着いた！」と反応し、全体の雰囲気が穏やかになりました。

【3 年】　プログラム名：心が落ち着く呼吸の仕方

- 繰り返し深呼吸をすることで、心が落ち着いたようでした。「すっきりした。」とつぶやく子が多くみられました。静かになることと深呼吸をすることで、気持ちが整理されたようでした。クラスの雰囲気も落ち着き、穏やかに一日をスタートさせることができました。今後も、折に触れて取り入れると効果的だと思いました。

【４年】　<u>プログラム名：心が落ち着く呼吸の仕方</u>

・一日の始まりの朝の時間や音楽の時間の前に、おなかに手を当ててゆっくりと深く呼吸をする取り組みをしました。「心が落ち着いた。」という声や眠くなったという声があがり、子どもたちはリラックスした様子でした。今後もいろいろな隙間時間にゆっくり呼吸することを取り入れて、落ち着いた雰囲気の中で子どもたちが学校生活を送れるよう支援していきたいと思いました。

【５年】　<u>プログラム名：めいそうタイム</u>

<u>どっちをえらぶ？</u>

<u>じゃんけんバリエーション</u>

<u>イライラや不安・悩み解消法を見つけよう</u>

・気持ちが落ち着き、クラスみんなで「静かな時間」を体験することができました。

・ロイロノートを使って、楽しい雰囲気で取り組むことができました。選択肢がわかりやすいので、表現の苦手が児童も安心して参加できました。今後はさらに、選んだ理由なども交流していけたらいいと思いました。

・わかりやすいルールなのですぐに取り組めました。短い時間でたくさんの友達と交流できるので、スタートのゲームとしてよかったです。

・保健の学習で「心の発達」を学習したタイミングだったので、関連させて単元の最後に行いました。付箋を使ったことで、たくさんの意見が集まり、友達との意見交流もできました。

【６年】　<u>プログラム名：ひらめけ！連想フラッシュ！！</u>

・楽しそうに行っていました。違う意見に対しても「それもあったね」「なるほど」と様々な意見を受け取る様子が見られました。あえて、オリジナルポイントを集める子どももいたり、ハッピーポイントの合計数が多いと喜んでいたりする子どもの様子が見られました。教師も子どもと一緒にお題を考えることができ、楽しむことができました。ロイロノートを使用しました。